

裁定表閲覧請求書（別記様式第四）の記載要領

1 氏名，住所等欄

請求人が個人の場合は，氏名，生年月日（年齢），郵便番号，住所，電話番号，ファクシミリがあればその番号を記載し，押印してください。

請求人が法人の場合は，名称，郵便番号，住所，電話番号（ファクシミリがあれば更にその番号）を記載し，押印するとともに，代表者又は管理人の氏名，生年月日（年齢），郵便番号，住所及び電話番号（ファクシミリがあれば更にその番号）を記載してください。

弁護士が請求人の場合は，当該弁護士の氏名を記載するとともに，連絡先として当該弁護士が所属する事務所の名称，所在地，電話番号（ファクシミリがあれば更にその番号）を記載し，押印してください。また，請求人が弁護士法人の場合は，当該弁護士法人の名称，所在地，電話番号（ファクシミリがあれば更にその番号）を記載し，押印するとともに，その業務を担当する弁護士の氏名を記載してください。

2 「犯罪被害財産支給手続番号」欄

犯罪被害財産支給手続の開始決定時に公告された，当該手続を特定するために付された手続番号を記載してください。

なお，外国譲与財産支給手続の場合には，その開始決定時に公告された，当該手続を特定するために付された手続番号を記載してください。

3 「申請人」欄

被害回復給付金支給申請書（別記様式第一）により支給の申請をした者の氏名，生年月日（年齢），郵便番号，住所を記載してください。

請求人と同じ場合は「請求人に同じ」と記載してください。

4 「許可を受けて閲覧しようとする者」欄

弁護士（弁護士法人を含む。）である代理人が，検察官の許可を受けて，自己の使用人その他の者に裁定表を閲覧させようとする場合は，当該使用人等の氏名，生年月日（年齢），郵便番号，住所，電話番号（ファクシミリがあれば更にその番号），請求人（弁護士（弁護士法人を含む。））との関係を記載してください。

5 「閲覧請求事項」欄

閲覧の対象となる裁定表のうち，当該請求人が閲覧をしようとする事項について，閲覧を求める資格裁定を受けた者の氏名を特定するなどして，具体的に記載してください。

6 「閲覧目的」欄

裁定表を閲覧しようとする目的を具体的に記載してください。

7 「閲覧希望日時」欄

閲覧を希望する日時があれば、それを記載してください。請求人のご希望に添えない場合もありますので、ご注意ください。